

## 第 61 回日本救急医学会関東地方会 幹事会 議事録

日 時：平成 23 年 2 月 5 日（土） 12：00～13：00

場 所：パシフィコ横浜 会議センター5 階 501

### ■新幹事推薦（堀常任幹事長）

新幹事の推薦が行われた。今回の候補者 13 名については、会員歴、会費納入状況等資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告された。新幹事 13 名が承認された。

また、常任幹事会では「学術集会の 30 日前までに、3 年間の会員歴を有する」との条件を厳格に適応し、会員歴 3 年を満たさない 5 名には別途連絡を行ったとの報告があった。今後、幹事募集の際には、入会期間に関する規定の周知を徹底するとともに、条件を満たさない申請者には事務局が迅速に連絡を行うこととなったとの報告が行われた。続いて、新幹事の就任の挨拶があった。

### 《報告事項》

#### 1. 庶務報告（矢口常任幹事）

2010 年 12 月 31 日時点での総会員数は、1006 名であり、2010 年度新入会者は 96 名、退会者は 79 名との報告がされた。

5 名の会員のご逝去が報告され、黙祷がささげられた。

#### 2. 2010 年度決算報告（矢口常任幹事）

収入について、予算より約 820,000 円の減収であったことが報告された。また、支出については、事務局が 2010 年度地方会補助費を 1,500,000 円支払うべきところを、誤って 1,300,000 円しか支払わなかったため、200,000 円を 2011 年に支払を行ったこと、編集委員会が例年より 1 回多く開催されたことに伴う交通費の増加があったこと、事務局使用のパソコンの故障による、パソコンの購入が予備費より行われたことが報告された。

最終的には支出予算より約 1,300,000 円少なく収めることができ、収支が 348,541 円の黒字になったとの報告があった。

兼坂監事より、1 月 18 日に事務局にて収支決算報告者および付随の帳簿等の監査を行った結果、全ての処理が適正であることが報告され、2010 年度決算が承認された。

### 3. 2011年度予算報告（矢口常任幹事）

広告掲載料の 2011 年度予算を、500,000 円から 250,000 円に減額したこと、また 2010 年度予算が 3,000,000 円であった刊行費のうち、500,000 円を抄録集作成代として地方会補助費に上乗せするとの説明があった。その他は例年通りの予算組であることが報告され、2011 年度予算が承認された。

### 4. 各常任幹事担当報告

#### ①看護部会・JATEC 報告（山口常任幹事）

看護部会については、学術集会の参加者、および演題数の増加につなげるため、新規会員獲得の努力が続けられていると報告された。

また、看護部会の開催時間および看護部会運営委員会再任手続き・会則の見直しについて看護部会で審議予定であることが報告された。

JATEC の東京開催について、今回新たに順天堂大学医学部附属浦安病院および日本赤十字社医療センターが定年開催参入を希望し、2011 年度については、聖マリアンナ医科大学の担当割り当てを順天堂大学医学部附属浦安病院に変更し、日本赤十字社医療センターについては昭和大学と合同で開催することが報告された。

#### ②救急隊員部会報告（横田常任幹事）

平成 23 年 2 月 9 日に、第 48 回救急隊員学術研究会が、相模大野にて開催され、シンポジウム 2 件、セミナー、一般演題 10 題が行われ、800 名以上の参加があり、活発な討論が交わされたことが報告された。

さらに、従来曖昧であった救急隊員の投稿資格について、投稿規定を日本救急医学会関東地方会の会員となったうえで投稿を認めると解釈することが、常任幹事会にて決定されたことが報告された。

#### ③SOS-Kanto 報告（矢口常任幹事）

SOS-Kanto は日本救急医学会関東地方会の委員会であることが確認され、次年度以降は活動報告、決算報告を日本救急医学会関東地方会と合わせて行うことが報告された。

続いて、平成 23 年 2 月 5 日に SOS - Kanto の委員長に就任した田原良雄先生より挨拶があり、SOS-Kanto は 2001 年に院外 CPA 患者に対する共同研究として発足したが、年月がたち、施設の担当者が多く変更されていることもあり、新たに施設を募り、共同研究を行っていくとの説明があった。

#### ④編集委員報告（森村常任幹事）

2010年12月発刊の『日本救急医学会関東地方会雑誌第31巻』は、2010年度の編集委員会による査読制を導入し、投稿論文175本のうち、52.5%にあたる91本の論文が掲載されたことが報告された。

また、学会誌の見やすさ、読みやすさの観点から、投稿規定の改定が行われたことが併せて報告され、今後は学会誌にキーワード・索引を入れることと、医学中央雑誌刊行会と契約を行う予定であることが報告された。

#### ⑤ホームページ報告（猪口常任幹事）

本日欠席の猪口常任幹事に代わり、堀常任幹事長より報告された。

本学会ホームページは、2010年に約10回の更新が行われ、引き続き活発に更新を行っていくとの報告があった。

#### ⑥細則変更の報告（矢口常任幹事）

平成23年1月19日に行われた、常任幹事会にて日本救急医学会関東地方会の会則施行細則が変更されたことが報告された。

第1章第1条幹事の資格については、(5)に、「名誉会員、または幹事2名以上の推薦を受けていること」と、名誉会員の文言が追加された。また、第2条審査の申請については、「幹事候補者審査申請書および業績を学会事務局に提出しなければならない」と、業績の文言が追加された。

第5章第21条名誉会員については、2項に推戴要件を新たに定めることとした。

第6章第16条の常任幹事会については、現行に合わせ、7項に年に2度の常任幹事会を実施するとの条文を新たに制定した。

また、日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会運営要綱については、会員について定めた2条に、会員資格は、学術研究会開催より1年間との2項を新たに制定したことが報告された。

### 5. 日本救急医学会関東地方会報告

#### ■第60回日本救急医学会関東地方会報告（長尾会長）

平成22年2月5日、6日に開催された第60回日本救急医学会関東地方会、長尾前会長より、挨拶があった。

続いて佐藤副事務局長より報告があり、医師部会377名、看護部会159名、救急隊部会1,153名、合計1,689名の参加者があり、15,619,350円の支出、14,060,528円の参加費、補助等の収入があり、1,558,822円の病院補助があったことが報告された。

## ■第 61 回日本救急医学会関東地方会報告（相馬会長）

平成 23 年 2 月 9 日開催の、第 48 回救急隊員学術研究会は合計 856 名の参加があったことの報告があり、12 時半の時点で、医師部会看護部会には、553 名の参加者があり、合計 1400 名の参加者があったことが報告された。

よりよい救急医療のために「救急医療における叡智と実践」というテーマで、学術集会が順調に行われているとの報告があった。

## 6. 次期会長挨拶（堀会長）

「明日の救急を考える」のテーマで、平成 24 年 2 月 3 日（金）に九段会館にて第 49 回救急隊員学術研究会を、平成 24 年 2 月 4 日（土）に、日本青年館にて医師・看護部会の学術研究会を行う予定であることが報告された。全国救急隊員シンポジウムと日程が重なっているので、調整中である旨が報告された。

## 《審議事項》

### 1. 名誉会員の推戴について（堀常任幹事長）

常任幹事会で、9 名の役員経験者を名誉会員に推戴し、就任の意思を確認したことが報告され、承認された。

### 2. 日本救急医学会関東地方会会則の変更について（矢口常任幹事）

第 4 章第 1 1 条規定の役員について、(2) の常任幹事の人数を 9 名から 8 名に変更するとの提案が常任幹事会から行われ、審議が行われた。現在の常任幹事数 8 名の根拠は、平成 19 年 3 月 29 日に日本救急医学会関東地方会事務局が東京女子医科大学救急救命センターから株式会社へるす出版事業部に移行したため、同センターから常時 1 名の常任幹事を選出する規定が不要になったためとの説明が行われた。審議の結果、全員一致にて会則の変更が可決された。

### 3. 次々期会長（平成 25 年）について（堀常任幹事長）

平成 25 年開催の日本救急医学会関東地方会の会長について、常任幹事会にて帝京大学救急医学講座の坂本哲也先生を推薦する旨を決定したことが報告され、承認された。

次いで、坂本次々期会長より挨拶があった。

## 《その他》

### ※第 39 回日本救急医学会総会・学術集会について

東京医科大学救急医学講座ご所属の太田祥一先生より、平成 23 年 10 月 18 日（火）から、

20日（木）に新宿京王プラザホテル他にて、第39回日本救急医学会総会・学術集会が開催されるとの案内があった。「救急医学のルネサンス」とのテーマで、演題を3月1日から4月19日まで募集を行うことも併せて報告があった。

以上

[議事録作成：事務局 松本 舞]

議長： \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人： \_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_ 印